

平成31年1月17日(木)
国土交通省関東地方整備局
総務部

記者発表資料

関東地方整備局入札監視委員会 審議概要 (第二部会 第3回定例会議)

関東地方整備局入札監視委員会第二部会の第3回定例会議が、平成30年12月26日、横浜市内で開催され、工事1件、建設コンサルタント業務等3件、役務の提供等2件の入札結果が審議されました。
審議内容は別紙のとおり。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会
横浜海事記者クラブ

問い合わせ先

〈第二部会〉

国土交通省関東地方整備局
神奈川県横浜市中区北仲通5丁目57番地
横浜第2合同庁舎
電話 045-211-7413(代)

総括調整官	岡本 雅夫	(内線5704)
契約管理官	四家 弘行	(内線5880)
経理調達課長	堀川 雅弘	(内線5870)
品質確保室長	小笠原政之	(内線5797)

平成30年度

関東地方整備局 入札監視委員会第二部会第3回定例会議 審議概要

開催日及び開催場所	平成30年12月26日(水) 関東地方整備局 131・132会議室	
委員	長 井 宏 平 (東京大学 准教授) 長 友 昭 (拓殖大学 准教授) 手塚 広 一 郎 (日本大学 教授)	
審議対象期間	平成30年7月1日～平成30年9月30日	
審議案件	総件数	6件
工 事		
一般競争入札方式		1件
	政府調達	0件
	政府調達以外	1件
建設コンサルタント業務等		3件
物品・役務		2件
委員からの意見・質問、 それに対する説明・回答等	意見・質問	説明・回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

○ 問い合わせ先

横浜市中区北仲通5丁目57番地 横浜第二合同庁舎

電話 045-211-7413 (経理調達課)

国土交通省関東地方整備局 入札監視委員会第二部会事務局

総括調整官 岡 本 雅 夫

契約管理官 四 家 弘 行

経理調達課長 堀 川 雅 弘

品質確保室長 小笠原 政 之

意見・質問	説明・回答
<p>【報告事項】</p> <p>(1) 入札・契約手続の運用状況について</p> <p>(2) 指名停止等の運用状況について</p> <p>(3) 再度入札における一位不働状況について</p> <p>(4) 事務所の平均落札率の推移状況について</p>	
<p>【事案1】</p> <p>一般競争入札方式（政府調達以外・港湾等しゅんせつ工事）</p> <p>「横浜港大黒地区航路・泊地（－1.2m）浚渫工事」</p> <p>○積算にかかる情報を開示している中で、調査基準価格を下回る業者が出てくるのはどのような要因が考えられるのか。</p> <p>○これだけ調査基準価格に近い数字を狙ってくるということは、積算単価をもう少し下げられるのでは無いかと考えるが、如何か。</p> <p>○入札参加者が比較的多いのは、湾内で比較的やりやすい工事であるとか、外の海の工事と比較してリスクが少ないとか、そういった要因も考えられるのか。</p>	<p>○受注意欲が高かったため、調査基準価格に出来るだけ近い価格を狙った結果と推察します。</p> <p>○価格に余裕があるということではなく、社の判断として工事実績確保や技術者育成等の観点から、品質を確保できるぎりぎりの金額で応札したのではないかと推察されます。</p> <p>○内湾と外洋ということでは一概に比較できませんが、外洋での工事と比べて海象条件のリスクが少ないと考えられます。</p>
<p>【事案2】</p> <p>簡易公募型競争入札方式（測量・調査）</p> <p>「東京湾深浅測量」</p> <p>○総合評価の評価表を確認したところ、技術者の成績が良いから表彰されている訳でもないようだが、成績と表彰との関係はどうなっているのか。</p>	<p>○成績評定は過去3年間の業務実績の平均点で評価し、表彰は、個々の業務において特に優れた業務について表彰するものです。平均点の高い者と個々の業務において高い評価を受けた業務の2つの軸で総合的に評価をしています。</p>

意見・質問	説明・回答
<p>○技術評価点が、技術点算出結果表において60点であった者が実施結果表において36点になるのはどうしてか。また、選定段階と入札段階で2回評価しているが、発注者側の業務軽減からも評価をわける必要はないのではないか。</p>	<p>○技術評価点は100満点で評価したうえで、総合評価における配分点を60点としていることから、60点満点に換算しています。</p> <p>選定段階では、企業と技術者の評価を行い、入札段階では業務を行う技術者の評価をします。</p> <p>また、選定にあたっては、技術提案書の作成に相当の時間と費用を要することから参加申請者が10者以上あった場合においては、入札参加者を10者以下に絞り込むため2段階の評価をしておりますが、業務軽減の観点から今後手続きについて検討してまいります。</p>
<p>【事案3】 簡易公募型競争入札方式（建設コンサルタント等） 「東京湾中央航路付帯施設設計等業務」</p> <p>○総合評価結果における入札者の技術評価点を比較すると、予定技術者が持つ業務成績の実績評価によって大きな差が生じている。実績を有する者の業務成績の実績評価の重みづけが高いことは理解するが、優れた技術提案を行っても逆転できる余地が少なく新規参入者にとって不利になる恐れがある。バランスを見直すことも検討してはどうか。</p> <p>○入札額が調査基準価格を下回った入札者は、履行確実性の確認のためのヒアリングを受けることとなっているが、本件入札において、これに該当した入札者のすべてがヒアリングを辞退したため、無効となっている。ヒアリングの負担が大きいと考えられることから、ヒアリングの負担を軽くできないか。</p>	<p>○優秀な技術者を高く評価するために業務成績の実績評価の重みを上げてきた経緯がありますが、結果として良い提案をしても逆転が困難になっている状況も考えられます。今年度実施した総合評価の結果の分析を行ったうえで必要に応じて見直しも検討してまいりたいと考えています。</p> <p>○履行確実性を担保するためにはヒアリングは必要と考えておりますが、ヒアリングの負担を軽減できるか今後検討してまいります。</p>

意見・質問	説明・回答
<p>【事案4】 簡易公募型プロポーザル方式（建設コンサルタント等） 「東京港臨港道路（南北線）環境調査」</p> <p>○現地での環境調査は平成28年度から平成32年度まで、毎年度実施するのか。</p>	<p>○同じ内容の調査を毎年度繰り返し行うのではなく、工事の内容から当該年度において最も環境負荷がかかる調査項目を選んで、実施しています。</p> <p>30年度は、現場の稼働率が最盛期となることから、工事関係車両の出入りが最も多くなるため、大気質、騒音・振動、自然との触れ合いの活動の場にかかる現地調査を行っています。</p>
<p>【事案5】 一般競争入札方式（物品の製造） 「関東地方整備局海洋環境整備船建造」</p> <p>○1者入札だが、他に同様の船舶を建造できる者がいないということか。</p> <p>○LNGと軽油を燃料とする、2元燃料機関の船舶の建造実績がないから1者入札なのか。</p> <p>○発注仕様は細かく指定しているのか。船舶の航行安定性や船内環境等に支障がでるようなことはないか。また、必要な装置が足りないことはないか。</p>	<p>○建造実績、ドックの規模等から10者以上参加が可能となるように要件設定をしておりましたが、今回は1者入札となりました。</p> <p>○参加資格としては、2元燃料機関の建造実績を入札参加要件としては設定しておりませんでしたので、10者以上の参加は可能と考えておりました。一方で2元燃料機関の作業船は国内で1隻しか建造実績がないことから応札者が少なかった事も考えられます。</p> <p>○細かい数値で指定しておりませんが、航行安定性や船内環境の必要な条件については仕様書に記載しております。必要な機器装置については具体的に記載されており、不足することはないと考えております。</p>

意見・質問	説明・回答
<p>【事案6】 一般競争入札方式（役務の提供） 「関東地方整備局（港湾空港）出力機器等最適配置及び出力サービス提供等業務」（MPS 契約）</p> <p>○総合評価にあたって、どのように評価基準を設定したのか。</p> <p>○契約期間の5年間については何か理由があるのか。</p> <p>○何故1者応札となってしまったのか理由はわかるか。</p> <p>○本契約終了後、次の契約において会社が変わる可能性もあるのか。その場合は機材等も入れ替えとなるのか。</p>	<p>OMP S 契約を先行実施している他の国の機関の実施内容等を参考に作成しております。</p> <p>○財政法上の国庫債務負担行為として最長の5年としております。</p> <p>○入札にあたり当局で確認していた履行可能と想定される企業は9者程度おりました。そのうち3者が入札資料をダウンロードをしておりました。落札決定後、不参加の理由についてヒアリングを実施したところ、今回は社内で業務の履行体制が整えられなかった等の回答がありました。</p> <p>○本契約はH34年度までの契約となっており、その後は再度入札の実施を予定しております。事業者が変わった場合は機材の入れ替えが発生いたします。</p>
<p>【まとめ】 本日の審議に関して、特に意見の具申及び勧告等はなし。</p>	

【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
一般競争入札方式	横浜港大黒地区航路・泊地（-1.2m）浚渫工事	港湾等しゅんせつ工事	7	7	H30.7.24	五洋建設 株式会社	247,644	90.1	

【建設コンサルタント等】

入札方式	業務名	業種区分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
簡易公募型競争入札方式	東京湾深浅測量	測量・調査	5	5	H30.8.29	三洋テクノマリン 株式会社	16,632	80.3	
簡易公募型競争入札方式	東京湾中央航路付帯施設設計等業務	建設コンサルタント等	6	6	H30.9.27	日本海洋コンサルタント 株式会社	10,152	81.0	

【建設コンサルタント等】

入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	提案書提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
簡易公募型プロポーザル方式	東京湾臨港道路（南北線）環境調査	建設コンサルタント等	4	3	H30.8.6	三洋テクノマリン 株式会社	30,888	99.8	

【役務の提供等】

入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
一般競争入札方式	関東地方整備局海洋環境整備船建造	物品の製造	1	1	H30.7.25	ジャパンマリンユナイテッド 株式会社	1,436,400	99.8	
一般競争入札方式	関東地方整備局（港湾空港関係）出力機器等最適配置及び出力サービス提供等業務	役務の提供等	1	1	H30.7.3	富士ゼロックス 株式会社	167,291	91.5	